



緑にこだます音楽の里

2012 **4** April No.492

平成24年

<http://www.kawamoto-town.jp/>



川本小学校

祝



川本中学校

祝

ご入学
おめでとう
ございます

—— 主 な 内 容 ——

町長施政方針	2
議会かわもと	5
新・川本小学校開校	9
人権について	10
おとぎ館リニューアルオープン	12
役場からのお知らせ	13
コミュニティ助成事業	14
神話博しまねについて	14
ぶっくんだより	15
情報交差点	16
くらしの情報カレンダー5月	17
川本町立 川本小学校 校歌	18

町長施政方針

～平成24年3月定例町議会より～

戦後日本のように経済的豊かさばかりを追いつめるのではなく、一人ひとりが人生に充足感や誇りを持てる、絆で結ばれた社会を創り上げることが、「震災後」の日本が目指すべき姿であります。私は、そのような社会づくりの一翼を担ってまいりたいと考えております。これからのまちづくりの基本的な方向性ですが、「お金が無くても小さな町だからできること」「小さな町でなければできないこと」という視点に立ち、「一人は万人のために、万人は一人のために」という共同精神・相互扶助の精神で人と人との絆を強め、安心して暮らせる町づくりを目指してまいります。

町民の皆様と常に対話を重ねながら、「町民の目線で考え、町民のために働き、町民と共に行動する」を行動原理とし、現場に「行って見て、考える」現場主義に徹して、町の発展と町民福祉の向上のため職員と一丸になって、諸課題解決のため、一つひとつ丁寧に取り組んでまいります。皆様の格別なご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成24年度当初予算

一般会計の当初予算は、32億9、345万円となり、前年度当初予算と比較すると1億2、321万6千円の減、率は36%の減となっています。

減少の大きな要因は、国の経済対策による緊急雇用・ふるさと雇用事業が一部終了したことや、弥山荘改修事業、スクールバス車庫整備事業等の完了によるものです。

防災対策

東日本大震災以後、自治体の枠を超えた多様な広域連携の必要性が注目されるようになり、相互応援協定等の取り組みが進んでいます。本町においては、姉妹都市縁組25周年を迎えた坂町と相互協定締結を目指し、広域連携を図っていきます。

本町では平成20年度から、集中豪雨を想定した防災訓練を実施しており、今年は土砂災害全国統一防災訓練に併せ、6月3日（日）に計画しておりますので、多くの自治会等に参加を呼びかけていきたいと考えています。また、消防積載車を22年度から計画的に更新しており、24年度は三島、笹畑、北佐木地区の車両を3台更新する予定です。

生活交通対策

「交通空白地域」への公共交通サービスとして、デマンド型交通の検討を進めており、今年3月から実証運行を開始したところです。ニーズの把握など検証を重ねながら10月の本格運行を目指していきます。

第5次川本町総合計画

第5次川本町総合計画（平成24年度から33年度）については、「医・職・住・学」を4つの柱とし、住民意見交換会などを経て、基本構想の大枠を確定したところです。現在、重点施策など具体的な推進項目を検討しており、6月をめどに全体像をお示しできるよう作業を進めています。

定住対策・集落対策

新たな取り組みとして、全国へ川本町をPRしていただく川本町出身者等を「応援大使」として登録し、その活動を支援する事業や、町内での同窓会開催の支援事業を行うこととしており、ふるさとへの愛着心やU・I・Tの促進につながることを期待しています。

また、集落支援員や地域おこし協力隊員を中心に取り組みを進め、三原地区をモデル地域として実施したアンケート調査を、三原地

区や他地域での集落機能の維持方策に生かしていきたいと考えています。

農業振興・担い手支援について

農業従事者の高齢化や後継者不足が深刻化する中、新規就農者の確保、育成に向け、就農相談会の開催や遊休農地の情報提供、青年新規就農者の育成事業に取り組みます。

農業者戸別所得補償制度は、24年度についても引き続き実施されます。また、水田活用や畑作物に対する交付金も継続されます。

農地や農業用水等の保全・管理に向けた集落の共同活動を支援するため、本町におきましても、引き続き共同活動による資源保全の取り組みを支援していきます。また、環境保全型農業直接支払交付金事業では、ハーブ米等の化学肥料・化学合成農薬低減の取り組みが進んでいます。

エゴマ産地育成支援1a当たり3,000円の支援を継続し、生産拡大、機械化による労働力の省力化、県と連携した反収量増加の実証栽培に取り組んでいきます。

ニホンザルによる農作物等への被害対策として、ロケット花火やモンキードッグによる追い払い、緩衝帯の整備、サル接近警戒システムの設置など、集落ぐるみの取り組みを推進しています。

森林資源の利活用

湯谷温泉・弥山荘に木質チップボイラーを導入し、4月から稼働を開始します。新たな取り組みとして、平成24年度から地域住民等による木材の搬出を地域通貨の発行によって支援する林地残材等搬出支援実証事業を計画しています。

商工業振興

商店街の活性化や雇用創出を重点的に進めていくため、空店舗対策を強化し、4件の開業を支援してきました。24年度からは、子育てサロンや高齢者サロン等のコミュニティ事業も対象になることから、補助事業を継続し、商店街の賑わい創出を図っていきます。

企業立地支援緊急貸付事業を創設し、雇用の場の確保と定住支援に取り組んでいます。23年度実績は1件で、24年度も継続しながら企業誘致、事業拡大を進めていきます。

観光事業

今年「古事記」編纂1300年の節目に当たることから、島根県全域で大型観光キャンペーン『神々の国しまね』が実施されます。本町においても、石見神楽出張上演助成事業に取り組むなど、交流人口の拡大と経済の活性化を目指し、観光PRに努めていきます。

また、湯谷温泉・弥山荘は、老朽化した配管の取替や浴槽の改修、源泉かけ流しの浴槽や壺湯の設置も行い、一層の集客を目指します。

道路整備・砂防・治山・治水・地すべり対策

町道中倉日向線道路改良工事は、中倉側と日向側からの2工区に分けて、工事発注を実施しております。

弓市中心部歩道整備は、中央駐車場から川本小学校間の改良工事が実施され、24年度に完了予定です。

一般県道川本大家線、谷戸イズモコバイモ群生地から三俣堀割区間バイパス改良工事は、三俣側からの切土盛土工150m、三俣側の橋台工事が予定されています。

一般県道川本大家線、三俣から湯谷間の待避所整備工事は、湯谷地内で、轟橋付近、旧三谷郵便局前、三谷神社付近が実施予定です。

主要地方道大田桜江線、南佐木から田窪間の待避所整備工事は、140mの舗装工事及び新規箇所120mが実施予定です。

主要地方道川本波多線、川本バイパス計画は、竹工区から多田間の測量設計業務が行われ、25年度から工事着手の予定、また川本大橋歩道橋設置は、26年度に完成予定です。

県営大邑3期地区広域農道、長谷工区では、

路床工・落石防止柵等の安全施設工事が実施され、25年度に完了予定です。

砂防・治山・地すべり事業について、因原引地谷川及び三島丸山川は、引き続き堰堤工事が発注され、平成24年度に完了予定、県単尾原地区自然災害防止事業は、引き続き落石防止工事が予定されており、25年度に完了予定です。

生活排水処理対策

下水の集合処理施設の整備を断念し、個人設置型合併浄化槽設置を推進することとしたところです。三原地区集落排水整備地区を除く町全域を対象に、設置費の町補助額を嵩上げして対応しており、継続して支援することとしています。

町税等について

固定資産税の土地課税は、地籍調査前の登記簿面積で課税してきたところですが、地籍調査が平成23年度をもって完了したことに伴い、24年度から調査後の登記簿面積に基づく課税を行います。

環境衛生

これまで邑智郡3町や自治会ごとに異なっ

いたごみの収集回数を、24年度から統一することとしました。可燃ごみの収集は週2回、資源ごみの収集は月2回となります。

耐震診断助成について

地震等による家屋の倒壊被害を未然に防ぐため、一戸建て木造住宅の耐震診断に係る経費を助成します。対象は、昭和56年5月31日以前に工事着手された、階数が2階建て以下の既存の住宅です。

保健・医療

国民健康保険事業の広域化に向けた取り組みとして、保険税の改定を予定しています。内容は、算定の基礎となる「所得割」「資産割」「均等割」「平等割」のうち、「資産割」を廃止するものです。後期高齢者医療制度の平均的な保険料は、前回と比べ均等割額は1,850円、所得割率は1・06%の上昇となります。

介護保険事業

保険料の月額基準額は、月額5,550円で第4期に比べると月額700円、14・4%の増となります。また、保険料の所得段階は、高所得層等を細分化し、8段階から11段階に見直します。

子育て支援

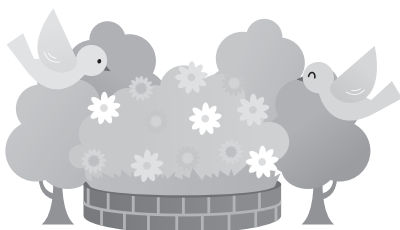
3歳未満の第3子以降の児童に対する保育所保育料については、現在、一律3,000円とする軽減措置を行っていますが、平成24年度からは、第3子以降の児童に対し、保育料を全額免除します。

子どものための手当

子ども手当は、24年度から「子どものための手当」に改正され、年収960万円を基準に、所得制限が導入される予定です。

特定健診、がん検診

特定健診や各種がん検診の受診率の向上を目指し、休日検診の実施や検診項目の追加、受診料の軽減、ヘルスポイント制度の導入に取り組んでいるところです。24年度も受診を奨励し、疾病の早期発見や健康保持、増進を図っていきたいと考えています。





議会



No.101

発行
島根県邑智郡川本町川本
川本町議会
TEL (0855) 72-0068 (直通)
FAX (0855) 72-0635
〒696-8501
編集 議会広報委員会
印刷 佐々木印刷株式会社
発行日 平成24年4月20日

お知らせ

きびしい財政事情の中、経費節減のため、限られたスペースではございますが、「広報 かわもと」の紙面に併せて掲載することといたしましたのでご理解を賜りますようお願いいたします。



平成24年第1回定例会が3月9日から16日までの8日間開催された。
はじめに三宅町長の施政方針・坂根教育長から教育行政執行方針が述べられ、条例案件18件、予算案件10件、人事案件5件、その他案件5件の38議案が提案され慎重審議の結果、原案どおり可決した。
一般質問は4名から当面する町政の諸問題について質問があり、活発な論議が展開された。一般質問に先立ち予算特別委員会で24年度予算について審議し、最終日委員長報告の後、採決が行われ、すべての日程を終了した。

こんな議案を
審議しました

陳情・請願

受理番号 年 月 日	陳 情 の 要 旨	陳情者の住所及び氏名	付託委員会	採択・継続
第 1 号 24. 2. 13	島根原発をなくし、再生可能エネルギーへの転換を求める陳情。	島根県松江市母衣町 55-2 島根県教育会館 2 階 島根県労働組合総連合内 原発ゼロをめざす島根の会 代表者 舟 木 健 治	総務教民常任委員会	継 続
第 2 号 24. 2. 27	「こころの健康を守り推進する基本法」(仮称)の制定を求める意見書採択に関する陳情。	島根県邑智郡川本町川本 545-1 川本町家族会 会 長 山 田 藤 江 外 3 名	総務教民常任委員会	採 択
受理番号 年 月 日	請 願 の 要 旨	請願者の住所及び氏名 紹 介 議 員	付託委員会	採択・継続
第 1 号 24. 2. 24	川本町民体育館を室内練習場として早急に改修を求める請願。	島根県邑智郡川本町川本 島根県立島根中央高校野球部後援会 会 長 小 田 泰 敬 島根県立島根中央高等学校 校 長 三 上 昭 憲 紹介議員 青 木 和 昭	総務教民常任委員会	採 択

人事案件

◎川本町副町長の選任につき同意を求めることについて、全員賛成で同意した。

氏 名 野 坂 一 弥 氏
住 所 松江市内中原町

◎川本町監査委員の選任につき同意を求めることについて、全員賛成で同意した。

氏 名 中 垣 和 夫 氏
住 所 川本町大字因原

◎川本町教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて、全員賛成で同意した。

氏 名 松 井 紹 憲 氏
住 所 川本町大字三原

氏 名 梶 醇 氏
住 所 川本町大字川下

氏 名 三 好 正 師 氏
住 所 川本町大字川本



一般質問

人口減少に伴う「集落対策」は？

三宅町長「町内6箇所で開催する。民意見交換会を開催する。」



飯田議員

平成24年1月末現在本町においては、人口減少が急速に進み「限界集落」が24集落に増え「限界的集落」は12集落、その内「危機的集落」も2集落となり、集落維持が困難な状況になっている。今後、集落の再編を含め行政の指導が必要と思うが？

三宅町長

「集落対策」についてこれまで県と連携して定住コーディネーター、地域おこし協力隊、集落支援員を導入して新たな「集落対策」を取る中で、三原地域を対象としたアンケート調査を実施し、集計している。その結果を他地域にも参考とする。また、4月中旬から下旬にかけ町内6箇所で見聞交

換会を開催し、今策定中の第5次川本町総合計画、24年度の予算に反映していくよう考える。行政として集落の維持のできないところは、色々な問題を越えて集落再編に取り組む必要があると考える。

「定期巡回・随時対応訪問介護看護」について問う。

木村健康福祉課長「ニーズ等を把握しながら、検討する。」



瀬尻議員

今、病院での介護・看護は3ヶ月を過ぎると退院を求められるが、新たに施設へ入所したくても、順番待ちでなかなか入所できない中、平成24年4月1日より施行される24時間随時対応できるこのシステムを広く紹介することによって活用が増えれば、施設への順番待ちも減り、入所が容易になると期待できる。この制度が定着

できるような施策・方針を検討していくことが必要と思うがどうか。

木村健康福祉課長

このサービスは、高齢者人口が増加し利用者・介護スタッフが確保しやすい都市部を想定しており、人口の少ない川本町では、採算性やマンパワー確保の上で大きな課題がある。今後、利用者のニーズ等を把握しながら介護保険課・介護事業者と協議し、検討していく。

◎その他の質問

●これからの川本町を担う人材育成について町長の考えを問う。



小規模多機能ホーム「ふくろうの里」

小規模発電事業について尋ねる。

森口住民課長Ⅱ第5次川本町総合計画で再生エネルギー利用促進策を考える。



圓山議員

町長の施政方針の中から「耕作放棄地」の解消・「有害鳥獣対策」・「木質バイオマス」・「有機農業」・「地域通貨」なる表現はあるが、今話題のエネルギー問題をこうした事業の中で考える気はないのか尋ねる。島根県の方針の中にそうした小規模発電事業に助成、農水省の検討の中にも耕作放棄地に発電設備などの情報もあるが。

森口住民課長

この度の東日本大震災により日本の原発に対する「安全神話」が崩壊し、エネルギーの転換を図る国民的関心が増大している。昨年8月に太陽光などで発電した電力を、電力会社が買い取る再生エネ

ルギー特別措置法が成立した。川本町では庁舎や道の駅に太陽光発電を設置しており、今後も「新エネルギー対策」・「小規模発電事業」等、第5次川本町総合計画の中で再生エネルギー利用促進策を考える。

◎その他の質問

●有機農法を取り組む中で、有機肥料づくりに助成を。

施政方針について。

三宅町長Ⅱ町民との対話を重視し、現場主義の視点で臨む。



青木議員

この度、初めて町長に就任されて向こう4年間町政を担当されるわけだが、定例会に提出された施政方針は、あまりにも具体性が無い。町長として初めての議会なので、4年間の具体的な方向性について自分の考えを提示されるべきである。選挙公約で示したとある

が、町民の大方の皆さんには伝わっていない。詳しく述べていただきたい。

三宅町長

町民との対話を重視し、そして現場主義の視点でこれから臨んでいきたいと考えている。一つ一つ丁寧に議論して、その上で適切な時期に町政の責任者として決断を行っていきたいと考えている。これが基本姿勢である。

◎その他の質問

●特別職報酬等審議会の答申の見送りの扱いについて。

議員発議

発議第1号

川本町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

右記の議案を、地方自治法第112条及び会議規則第13条の規定により左記のとおり提出します。

平成24年3月16日提出
提出者 川本町議会議員 圓山 雄
賛成者 川本町議会議員 小川 達
賛成者 川本町議会議員 宮田 七郎
賛成者 川本町議会議員 青木 昭浩
賛成者 川本町議会議員 飯田 則
賛成者 川本町議会議員 瀬田 昌通
賛成者 川本町議会議員 片岡 平泰
賛成者 川本町議会議員 植田 亨

平成24年川本町条例第19号

川本町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

川本町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例（昭和54年川本町条例第2号）の一部を次のように改正する。

附則に次の1項を加える。

5 平成24年4月1日から平成25年3月31日までの間における議会の議長、副議長、常任委員長、議会運営委員長及び議員の報酬月額、第2条の規定にかかわらず、別表第1に規定する報酬月額からその額の10%にあたる額を減じて得た額とする。

附則 この条例は、公布の日から施行する。

発議第2号

「この健康を守り推進する基本法（仮称）」の制定を求める意見書の提出について

右記の議案を左記のとおり川本町議会会議規則第13条の規定により提出します。

平成24年3月16日提出
提出者 川本町議会議員 瀬田 亨
賛成者 川本町議会議員 片岡 昌通
賛成者 川本町議会議員 植田 平泰

「この健康を守り推進する基本法（仮称）」の制定を求める意見書

平成20年度から21年度にかけて厚生労働省は、「今後の精神保健医療福祉のあり方等に関する検討会」を設け、現状を網羅的に明らかにし、今後の望まれる施策を報告した。この報告をもとに、当事者・家族、医療福祉の専門家及び学識経験者による「この健康政策構想会議」が設立され、平成22年5月に「この健康政策」についての提言書を厚生労働大臣に提出した。

この提言書の中で、精神医療改革、精神保健改革、家族支援を軸として、国民すべてを対象とした、この健康についての総合的、長期的な政策を保障する「この健康を守り推進する基本法（仮称）」の制定を強く求めている。よって、政府及び国会におかれては、国民のこの健康の増進を図るため「この健康を守り推進する基本法（仮称）」を早急に制定するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成24年3月16日

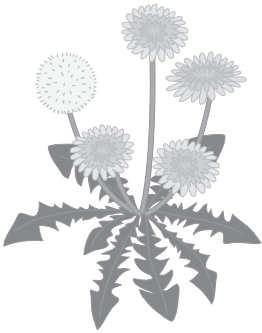
島根県 川本町議会

坂町・川本町 姉妹縁組25周年記念式典

広島県坂町との姉妹縁組25周年記念式典が、2月25日(土)坂町民センターにおいて開催された。

両町町長の式辞に始まり、交流団体への感謝状贈呈・記念品交換の後、川本町出身の城納一昭広島県副知事の祝辞、両町議会議長の祝辞があり、最後に記念行事として両町の芸能団体によるステージ披露があった。

また、25周年を記念して、坂町のマラソン愛好者でつくる坂町走友会と川本町職員が両町間を結ぶ「きずなマラソン」を企画。前日の24日に坂町走友会・町職員合計7名が川本町役場前をスタートしてタスキをつなぎ、翌25日式典の前に、坂町民センターにゴールした。



川本町議会議長 祝辞



広島県副知事(川本町出身) 祝辞



議員在職12年
圓山 達雄 議員
(島根県町村議会議長会表彰)

平成24年2月21日
左記の方が、表彰を受けられました。

自治功労者表彰授賞



きずなマラソン

編集後記

3月18日、川本小学校・川本西小学校・三原小学校の開校式が、それぞれの学校で行われました。卒業生や町民の皆様にとつて、感慨深い日になりました。4月からは新生川本小学校がスタートします。

新1年生が大きなランドセルを背負って、登下校する姿を見る時、この子供達を交通事故や非行・犯罪から地域ぐるみで守り、大事に育てていくことが、私達の使命ではないでしょうか。

現議会も、4月24日をもって任期満了となります。

この号をもって、現委員での広報委員会は終わりとります。次号からは新しい議員による発行となる予定です。

本当にありがとうございました。

広報発行対策調査特別委員会
委員長 瀬上 康浩
副委員長 圓山 達雄
委員 大畑 茂久
委員 瀬尻 亨
委員 植田 昌平

新しい川本小学校が誕生しました

4月7日(土)、町内3つの小学校の統合によって誕生した、新しい川本町立川本小学校の開校式が行われました。新入生24名を含む全校児童139名と、教職員(非常勤含む)22名でのスタートです。式典には学校関係者や来賓の方々、児童、保護者、地域の方々など、約200名が出席。教育委員会からの開校通告に続き、真新しい校旗が教育長から学校長に授与されると、これから始まる新しい学校生活に期待を込めた視線が注がれました。

川本小学校の活動や行事については今後も広報紙などを通してお知らせしていきますので、皆様のご支援をお願いします。

※川本小学校の校歌を最終ページに掲載しています。



たくさんさんの思い出をありがとう

くさようなら 私たちの小学校く

新しい川本小学校の開校に先立ち、3月18日(日)、3つの小学校で閉校式が行われました。式典では、卒業生や保護者、地域の方々など、長い間親しんだ小学校のお別れに集まった多くの方が見守る中、学校長が校旗を教育委員会に返納。この日をもって、川本小学校・三原小学校は明治8年からの137年間、川本西小学校は明治6年からの139年間の長い歴史に幕を閉じました。

式典に続き、それぞれの小学校では閉校記念行事が催されました。川本小学校では「川小まつり」で校舎探検などを行い、悠邑ふるさと吹奏楽団の演奏と校歌の大合唱で締めくくられました。また、川本西小学校では、卒業生だけで結成されたスペシャル神楽団による「塵輪」の上演やスポーツ少年団の子ども達から地域の皆さんへのお礼の言葉が述べられ、三原小学校では30年後の自分に宛てた手紙や地域の方々の寄せ書きなどを集めたタイムカプセルを埋め、記念碑の除幕式などが行われました。



悠邑ふるさと吹奏楽団の演奏と校歌の大合唱(川本)



舞も囃子も卒業生が演じた「塵輪」(川本西)



三原小学校の歴史ある看板も返納

人権教育・啓発推進基本計画を策定しました。



川本町教育委員会



基本計画策定の背景

国連が提言した「人権教育のための国連10年」(1995～2004年)を受け、国では1997(平成9)年に国内行動計画が策定されました。平成12年には、「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」が制定され、これに基づき、平成14年に「人権教育・啓発に関する基本計画」が策定されました。

島根県では、平成12年に「島根県人権施策推進基本方針」を策定、平成10年に同方針の改定を行い、人権教育・啓発の現状と課題及び施策の基本的方向を明らかにして、人権施策の総合的・効果的な推進に努めてきました。

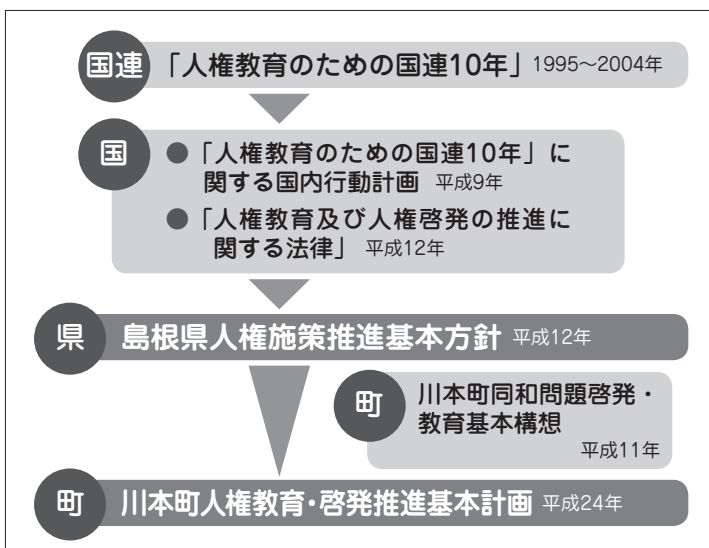
川本町では、平成11年に「川本町同和問題啓発・教育基本構想」を策定し、同和問題をはじめとした人権問題に取り組んできました。

しかしながら、近年は、ドメスティック・バイオレンス(DV)や児童・高齢者への虐待といった対応の強化が求められる課題や性同一性障害者の人権、インターネット上での人権侵害など、新たな分野の課題が顕在化しています。

このため、これまでの取り組みの成果や課題を踏まえるとともに、平成23年に

町内全戸を対象とした「人権問題に関する町民意識調査」を実施し実態を把握した上で、新たな課題や施策の動きに対応するため、平成24年3月に「川本町人権教育・啓発推進基本計画」を策定しました。

この「基本計画」は、今後の中・長期的な人権教育・啓発の基本的方向を明らかにするとともに、町が実施する人権施策の推進に係る基本的な指針となるものです。この計画を基に、町の人権施策をより総合的に推進していきます。



川本町の基本理念

「自己実現の達成」の支援

すべての人が自分らしい生き方ができるために、お互いの自己実現を尊重する地域社会の実現を目指します。

「共生の心」の醸成

一人ひとりの個性や違いを尊重し、様々な文化や多様性を認め合い、すべての人の人権が尊重され、共に支え合う「共生の心」の醸成に努めます。

「人権という普遍的な文化」の創造

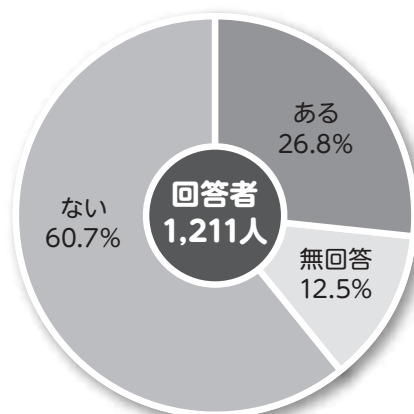
人権が人々の思考や行動の基準として日常生活に根付き、次の世代に引き継いでいけるような「人権という普遍的な文化」の創造を目指します。



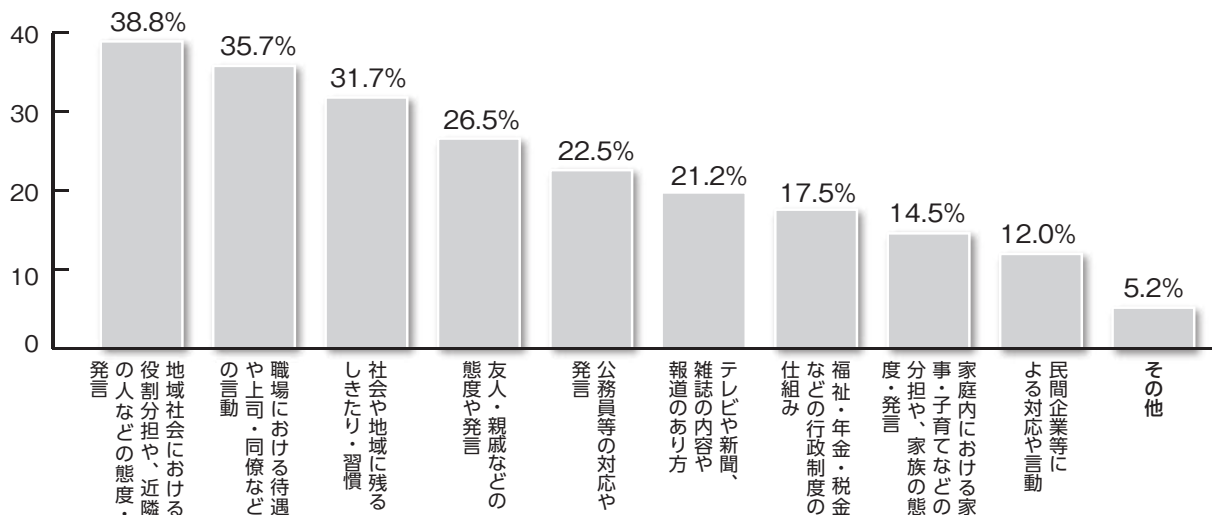
「人権問題に関する町民意識調査」から（平成23年 川本町）

Q1 日常生活の中で、あなたご自身が差別や人権侵害を受けたと感ずることがありますか。

川本町の意識調査では、「ある」と答えた人が26.8%、4人に1人が差別や人権侵害を受けたと感ずています。（島根県が平成23年9月に実施した「人権問題に関する県民意識調査」でも27.2%と、町と同様に高い比率となっています。）
この比率を下げ、人権が尊重される社会を構築するために、県も町も一体となって人権施策を推進していきます。



Q2 差別や人権侵害を受けたと感ずたことはどのようなことですか。 回答者 325人（Q1で“ある”と回答した人を対象に、複数選択回答）



今までに、差別や人権侵害を受けたと感ずたことの「ある」人にその内容を聞いたところ、「地域社会における役割分担や、近隣の人などの態度・発言」が38.8%で最も多く、次いで「職場における待遇や上司・同僚などの言動」35.7%、「社会や地域に残るしきたり・習慣」31.7%が上位にあげられています。

つなげよう 笑顔の輪 vol.3

川本町同和教育推進協議会では人権尊重の大切さについて理解を深め、心豊かな人権意識を育てることを目的に、町内小学生及びその家族から人権標語を募集しました。
このコーナーでは、応募のあった54点の作品を毎月紹介していきます。

家族の部

◆何気ない その一言に傷つくよ 石村 亮介
◆おはようど このひとことであさになる 木村 拓斗
◆あいさつは みんなの心をきらきらと 渡辺 未桜
◆優しさは みんなの大事な宝物 岩 佳奈子
◆ぼうりよくを 体ではって止めようね 中島 陸斗

来月のテーマ「女性」 学校や地域での取り組みもどんどん紹介していきます！

かわもと おとぎ館 リニューアルオープン！

リニューアル

4月1日（日）かわもとおとぎ館がリニューアルオープンしました。今までの業務委託方式を一新し、指定管理方式を導入しました。

この度、指定管理者に選出されたのは、さんびるグループです。今回は、リニューアルオープンした「かわもとおとぎ館」の概要をお知らせします。



◆指定管理者

さんびるグループ

・株式会社 山陰管財

・株式会社 さんびる

鳥取県米子市米原八丁目11番49号

代表取締役 田中 富士夫

島根県松江市南田町92番地1

代表取締役 田中 正彦

どのように変わるのか

今回のリニューアルでは、既存の設備を活かしつつも、カラオケスタジオやプロジェクター設置を行うなど、ハード面で増設・改修することにも、ソフト面では、細やかで機転の利いた、付加価値のあるサービスが提供されます。例えば、今まで休眠状態だったリスニングルームを地域の皆様がコミュニケーションをとる場所として自由に使用して頂き、さらに、チャレンジショップとして無料開放することで、どなたでもミニ事業にチャレンジできる場となっています。

ホテル・プール・レストラン・カラオケなどのコンテンツを一元的に管理し、それぞれのコンテンツの相乗効果により今までになかったサービスが生まれ、それを住民の皆様や観光客・ビジネス利用者に気軽に利用して頂くことができる施設です。

支配人の植田真二さんのコメント

皆様が気軽に立ち寄り、満足して頂き、何度でも足を運んで頂ける 皆様に愛される施設を目指しております。また、地元の雇用を積極的に行ったり、レストランで使用する食材は、なるべく地元の農産物を使用し、川本に密着した施設でありたいと思っています。

この素晴らしい施設を使用させて頂き、町と連携を取りながら、いつも人が集まり、絶えず笑い声が聞こえる様な魅力的な施設運営をしていきたいと思っています。

ぜひ生まれ変わった「かわもと おとぎ館」へ足を運んでみて下さいませ。



かわもと おとぎ館ではこんなことができます

たべる

カロリー計算をしたメニューの提供します。

今後、地元農産物を利用や特産品（エゴマ）を利用したメニューを考えています。

とまる

女性向けの宿泊プラン、イベントや観光と連携した宿泊プランや合宿の誘致など様々な宿泊プランを用意する予定です。

つどう

リスニングルームを無料開放。勉強したり、お話をしたり、自由にお使い頂けます。また、チャレンジショップとして無料で場所を提供します！

きたえる

プール・トレーニング設備を完備

みる

プロジェクターを設置し、スポーツ観戦などで活用する予定です。

うたう

スタジオ内にカラオケ室を設置し、60型の大型テレビ利用。料金は1時間1,000円です。（人数に関係ありません！）



役場からのお知らせ



木造住宅の耐震診断費補助

地震に強い町づくりに向けて、耐震診断基準が古い民間木造住宅の耐震診断費を一部補助します。詳しい条件についてはお問い合わせ下さい。

【補助対象住宅】

①から④すべてに該当する木造住宅が該当になります。

①町内に所在する民間木造住宅

②昭和56年5月31日以前に工事着手された戸建て住宅（店舗等の用途を兼ねる物（店舗等の用に供する部分の床面積が延べ床面積の1/2未満のもの）を含む。）

③在来軸組工法、伝統的工法、桝組壁工法による木造2階建て以下で、延べ床面積が500平方メートル以下の住宅。

④過去に耐震診断を受けていない住宅

【補助対象経費】 対象住宅の耐震診断（一般診断に限る）に要する費用

※補助対象経費の上限は7万5千円

【補助金の額】 補助対象経費の3分の2（上限5万円）

【お問い合わせ】 役場住民課 ☎72-0632

平成24年度狂犬病予防集合注射の実施について

犬を飼っている方は、年に1回、飼い犬に狂犬病予防注射を受けさせなければなりません。町では、犬を飼っている方がおられる地域を巡回し、狂犬病予防集合注射を実施します。詳しい日時・場所については、後日送付するハガキ又は5月配布予定の回覧文書をご覧ください。

■狂犬病予防集合注射日程：平成24年5月16日（水）～18日（金）

すでに動物病院で注射を受けた方は、『狂犬病予防注射済証』をお持ちのうえ役場住民課へお越しください。注射済票をお渡ししますので手数料550円を窓口でお支払いください。

また、飼い犬の登録（生涯1回）がお済みでない方は役場住民課へお越しください。登録鑑札をお渡ししますので、手数料3,000円を窓口でお支払いください。

【お問い合わせ】 役場住民課 ☎72-0632

森林の所有者届出制度が4月からスタートします

昨年4月の森林法改正により、平成24年4月以降、森林の土地所有者となった方は市町村長への事後届け出が義務付けられました。

■届出対象者 法人・個人を問わず、売買や相続等により森林の土地を新たに取得した方は、面積に関わらず届出をしなければなりません。

■届出期間 土地の所有者となった日から90日以内に、取得した土地のある市町村の長に届出をしてください。

【お問い合わせ】 役場産業振興課 ☎72-0636

宝くじの助成金で整備しました！

平成23年度、宝くじの助成事業（宝くじ一般コミュニケーション助成事業）により、三谷神楽団と三原神楽団の2団体が、衣装などを購入しました。

三谷神楽団と三原神楽団は、地元の住民と出身者で構成された団体で、ともに、重要無形民族文化財に指定されている「大元神楽」を継承している団体です。

伝統芸能である大元神楽を継承するため、三原小学校での神楽教室を行ったり、地元行事への参加により、多くの方に親しまれています。

こうした活動が、地域に密着したコミュニケーション団体として認められ、今回の採択となりました。

※コミュニケーション助成事業は、コミュニケーション団体（自治会や地域）の活動を支援する助成金事業で、（財）自治総合センターが、宝くじの普及広報事業費として、受け入れる委託事業収入を財源として、宝くじの普及広報事業として行っています。

みなさんの地域や自治会で、活動に必要な備品の購入を検討される際は、役場政策推進課までご相談下さい。



神話博しまね主会場（イメージ）



「神話博しまね」

7月21日～11月11日

日本最古の歴史書「古事記」編纂から1300年となる今年、島根県では「神話博しまね」を7月21日から11月11日まで、出雲大社周辺を主会場として開催します。ぜひ、ご来場ください。

○ **神話映像館**【有料】国内最大級のアーケ型超ワイドスクリーンで神話の物語をお伝えします。

○ **古代出雲歴史博物館**【有料・常設展示】銅剣や銅鐸、古代出雲大社本殿の復元模型の展示など様々な企画展をおこないます。

○ **魅力発信ステージ**【無料】伝統芸能・石見神楽をはじめ、島根の魅力がたっぷりのステージを繰り広げます。

＊＊お問い合わせ＊＊

・「神話博しまね」イベント全般

コールセンター ☎0853-53-8835

・入場券 前売券：7月20日まで 当日券：7月21日から

販売管理センター ☎0852-22-0167

※前売券（セット券800円）は川本町観光協会でも取り扱っています

☎0855-72-0636

入場券販売情報 「神話博しまね」公式ウェブサイト <http://www.shinwahaku.jp/jp>

区 分		前 売 券	当 日 券	備 考
神話映像館＋ 古代出雲歴史博物館（セット券）	普通	800円	1,000円	
	団体	—	900円	20名以上の団体
神話映像館（単券）	普通	400円	500円	
	団体	—	450円	20名以上の団体
古代出雲歴史博物館（単券）	普通	—	600円	大学生400円
	団体	—	480円	20名以上の団体／大学生320円

高校生以下
無 料

図書館

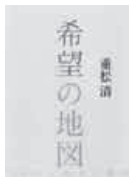
新刊案内

《一般向き》.....

希望の地図 重松 清/著 幻冬舎

著者が被災地への取材によって紡ぎ出した震災後の時代の始まりと、新しい一歩を描いたドキュメントです。取材中に出会った人、そこで流した涙や新たな幸福への道すじが書かれています。

重松清の深く暖かい心の思い、そして被災地への未来の思いが込められた作品です。



長嶋少年 ねじめ 正一/著 文藝春秋

小学5年生のノブオは、野球少年です。詩人である父は行方不明、母は働くことに無関心という環境の中で、長嶋茂雄に憧れ、野球に打ち込みます。友との別れや、ほろ苦い失恋も長嶋茂雄を支えに乗り切ります。すべての野球少年の心に捧げる1冊です。



NHKためしてガッテン 発酵パワーの簡単おかず「酒かす」「酢」「みそ」「ぬか」

NHK科学・環境番組部・主婦と生活社
「NHKためしてガッテン」編集班
主婦と生活社（生活シリーズ）

NHK人気番組「ためしてガッテン」で放送され、大きな話題をよびました。酒かす、酢、みそ、ぬかなどの伝統発酵食材の健康効果やおいしさを生かすレシピが紹介されています。この本で日本古来の伝統食材を毎日の食卓に取り入れてみましょう。食べて実感して頂ける1冊です。



《児童書》.....

ゆめのスカイツリー

谷川俊太郎/文 accototo/絵 金の星社

高さ634メートルの世界一高いタワー「東京スカイツリー」。地上450メートルの第2展望台からは、750キロメートル先まで見えます。そんなスカイツリーが逆立ちしたり、夜になって寝ちゃったり、エベレストとせいくらべをしたり、太平洋で立ち泳ぎをしたり！この絵本のスカイツリーからどんな景色が見えるでしょうか？



桜守のはなし 佐野藤右衛門/作 講談社

京都の植藤造園の十六代目・佐野藤右衛門さんは「桜守」と呼ばれています。佐野さんは日本全国を飛び回って、傷ついた桜の手当をし、桜の新種を探しています。

「桜守」の1年間の仕事を通して、命をつなぐとはどういった事を伝える写真絵本です。



がつくん だより

No. 180

5月の展示

《一般書》～花いっぱいになあれ～

《児童書》島根県立図書館巡回絵本展示
～おすすめしたいこどものほん～

4月23日 川本町読書の日

テレビを消して、家族で本を読んだり語り合う時間をもちましょう。



いいお顔のひろば ミニ読書会

お弁当をつくってでかけよう!

5月は、親子でお弁当をつくっておでかけしましょう。絵本の読みきかせは、お弁当をテーマに行います。

日 時：5月28日（月） 10：00～13：00

場 所：すこやかセンター

内 容：お弁当クッキング、絵本の読みきかせ、本の貸し出し

持参品：エプロン、三角巾、貸出カード、お茶、お箸、おんぶひも等

参加費：大人200円 子ども100円

対 象：在宅児家庭の親子

要申込：5月21日（月）締切

問合せ：子育てサポートセンター ☎72-1570
かわもと図書館 ☎72-0025



平成23年度利用実績

貸出人数：5,520人 637団体 計6,157（延べ数）

貸出冊数：個人18,970冊 団体6,117冊計25,087冊
町民1人あたり貸出冊数（団体貸出含む）

25,087冊／人口3,696人＝6.78冊

ゴールデンウィーク期間の図書館休館日

4月29日（日）～5月1日（火）・5月3日（木）～5月5日（土）

※5月2日（水）は通常どおり開館します。

新副町長就任

4月1日付けで副町長に就任いたしました。私は旧桜江町大貫で生まれ育ち、幼少の4年間は三原で過ごし、その後、悠久のときを流れる大河・江の川で結ばれたような縁を活かしながら、職員と一丸となって町政の発展に全力を尽くす所存ですので、どうぞよろしくお願いいたします。



副町長
野坂 一弥

新教育長就任

川本町の教育目標「すみよい豊かな郷土の発展につくしましう・心も体も健康で明るい生活をしましう・お互いの立場を理解し助け合いましう・感謝の気持ちを持ち進んで奉仕をしましう」の推進に努力しますので、町民の皆様のご支援・ご協力をお願いします。



教育長
松井 紹憲

ホームヘルパー2級資格取得訓練コース 訓練生募集のお知らせ

▽対象 離転職者でホームヘルパー2級資格を取得し、介護職として就職希望の方

▽定員 15名

▽募集期間 平成24年3月26日(月)～5月2日(水)

▽訓練期間 平成24年6月1日(金)～9月28日(金)

▽訓練内容 座学だけでなく、職場実習やパソコン基礎の学習も実施します

▽訓練場所 島根県川本合同庁舎2F(邑智地域能力開発センター)

▽受講料 無料(ただしテキスト代および保険料15,000円程度別途必要です)

▽申し込み方法 ハローワーク川本で所定の用紙で申し込んでください

【お問い合わせ先】

島根県立西部高等技

☎0856-22-2450

ハローワーク川本

☎0855-72-0385

大田圏域健康長寿しまね推進会議委員の公募のお知らせ

島根県では、健康で明るく生きがいをもって生活できる社会の実現を積極的に目指すために、「健康長寿しまね推進事業」に取り組んでいま

す。大田圏域では、「大田圏域健康長寿しまね推進会議」を設けて県民運動として展開を図ります。幅広く圏域住民の意見を反映させるため推進会議委員の一部を公募します。

▽公募人数 5名以内

▽応募資格 大田圏域(大田市・邑智郡)に在住する健康づくり活動の実践に関心のある方で、大田圏域健康長寿しまね推進会議に出席し、圏域計画の推進に参画できる方

▽任期 2年(平成24年4月1日から平成26年3月31日)

▽応募方法 応募を希望される方は、応募申込書に必要事項をご記入の上、左記応募先まで持参、又は郵送してください

※応募申込書は、役場健康福祉課又は県央保健所で受け取ることが出来ます

ただし、応募先は、県央保健所のみです。ご注意ください

▽応募締切日 平成24年4月27日(金)当日消印有効

▽選考 応募者が公募人数を上回る場合は、地域、年齢、性別等を勘案して選考します

【お問い合わせ先】

〒694-0004

大田市長久町長久ハブ1

県央保健所 健康増進グループ

(大田 圏域健康長寿しまね推進会議事務局)

☎0854-84-9820

平成24年度介護人材緊急雇用事業参加者(有資格者)募集について

介護の分野で働きたいと考えている介護の資格を有した方を対象に、介護保険施設・事業所又は障害福祉サービス事業での実地教育訓練(お試し勤務)を通して、自分の適性やニーズにあった就職先選びをお手伝いします。

▽実施機関 島根社会福祉協議会(島根福祉人材センター)

▽募集期間 平成24年5月1日(火)～11月30日(金) ※毎月末締め切り

▽内容 島根県社会福祉協議会で一定期間臨時的に雇用されながら介護保険施設・事業所又は障害福祉サービス事業所での実地教育訓練(お試し勤務)

▽募集対象 次のいずれにも該当する方 (1) 島根県内にお住まいで介護分野での就職を希望される方 (2) 介護福祉士、介護職員基礎研修、ホームヘルパー1級または2級の資格を有している方 (3) 県内の介護保険施設等での実地教育訓練(お試し勤務)に参加可能な方

▽定員 浜田会場10名程度

【お申し込み・お問い合わせ先】

島根県社会福祉協議会石見支所

(島根県人材センター石見分室)

☎0855-24-9340

くらしの情報カレンダー 5月

日 月 火 水 木 金 土						
29	30	1	2	3	4	5
■昭和の日 ※ひだまりサロン (すこやかセンター)	■振替休日	※キッズクラブ「キッズ☆イングリッシュ 5・6年」 (16:00～17:00) ⑥資源カン・資源ビン・新聞・雑誌・ダンボール・不燃ごみ (B地域)	⑥資源カン・資源ビン・新聞・雑誌・ダンボール・不燃ごみ (A地域)	■憲法記念日	■みどりの日	■こどもの日
☑前眼科医院、加藤病院	☑三上医院、加藤病院			☑邑智病院、加藤病院	☑邑智病院、加藤病院	☑邑智病院、加藤病院
6	7	8	9	10	11	12
■健康づくりゲートボール大会	※キッズクラブ 「キッズ☆キッチン 3・4年」 (15:30～17:00) ⑥資源カン・資源ビン・新聞・雑誌・ダンボール・不燃ごみ (C地域)	♥健康相談 北公民館 (9:30～10:30) 親和集会所 (10:45～11:15) 西公民館 (13:30～14:00)	※あそびの広場 (10:00～11:30) ※キッズクラブ 「キッズ☆アート 3・4年」 (16:00～17:00)		※キッズクラブ 「キッズ☆ヒーロー 1・2年」 (16:00～17:00) ◇因原保育所移動図書	
☑邑智病院、天川クリニック	13	14	15	16	17	18
			※キッズクラブ 「キッズ☆イングリッシュ 3・4年」 (16:00～17:00)	※親子うんどう教室&身体測定 (10:30～11:30)		♥妊婦・乳幼児相談 (10:00～11:00) すこやかセンター 成人相談 (11:00～11:30) すこやかセンター
	20	21	22	23	24	25
■しまね家庭の日	※キッズクラブ 「キッズ☆キッチン 5・6年」 (15:30～17:00) ■登記相談日 (ハローワーク川本会議室)		☎小体連陸上大会 ※あそびの広場 (10:00～11:30) ※キッズクラブ「キッズ☆アート 1・2年」(16:00～17:00)			※キッズクラブ 「キッズ☆ヒーロー 3～6年」 (16:00～17:00)
☑三上医院、波多野診療所						☎第67回邑智郡陸上競技大会
27	28	29	30	31	男女共同参画カルタより	
☑星ヶ丘クリニック、大隅医院	☎町内一斉クレーンキャンペーン (10:00～13:00)			☎小学校修学旅行 (～6/1)		
☑河野医院、加藤病院						

【5月の納税】

- ◆軽自動車税
- ◆国民健康保険税
- ◆後期高齢者医療保険料
- 【4月の納税】
- ◆固定資産税
- ◆国民健康保険税
- ◆後期高齢者医療保険料

※町税は必ず納期までに納めましょう。

【※】：学校行事関係

- ：サボセン行事
(子育てサポートセンター)
- ：健康相談・検診 (健康福祉課)
- ◇：図書館関係
- ：悠呂ふるさと会館行事
- ：一般行事 ◎：保育所行事
- 【※】：休日診療情報 (10:00～16:00)

【※】：ゴミ収集

A地域 (木路原・日の出・上新町・中新町・下新町・元町・本町・天神町・谷・市井原・長原・矢谷・芋畑・双葉・中倉・日向)

B地域 (因原・三大字・多田・久座仁・谷戸・三島・笹畑)

C地域 (西・八幡・三原・田窪・南佐木・親和・湯谷・三俣)

【燃えるごみの収集日】

【ペットボトルの収集日】

【容器包装プラスチックの収集日】

【容器包装 紙の収集日】

毎週火曜日 (町内全域)

毎月第1・3水曜日 (町内全域)

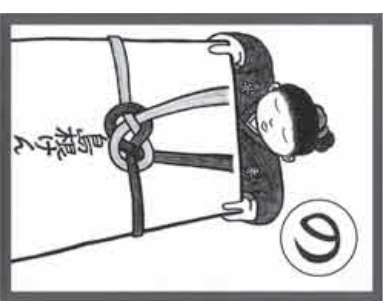
毎週木曜日 (町内全域)

毎月第2・4水曜日 (町内全域)

のし袋

妻の縁に

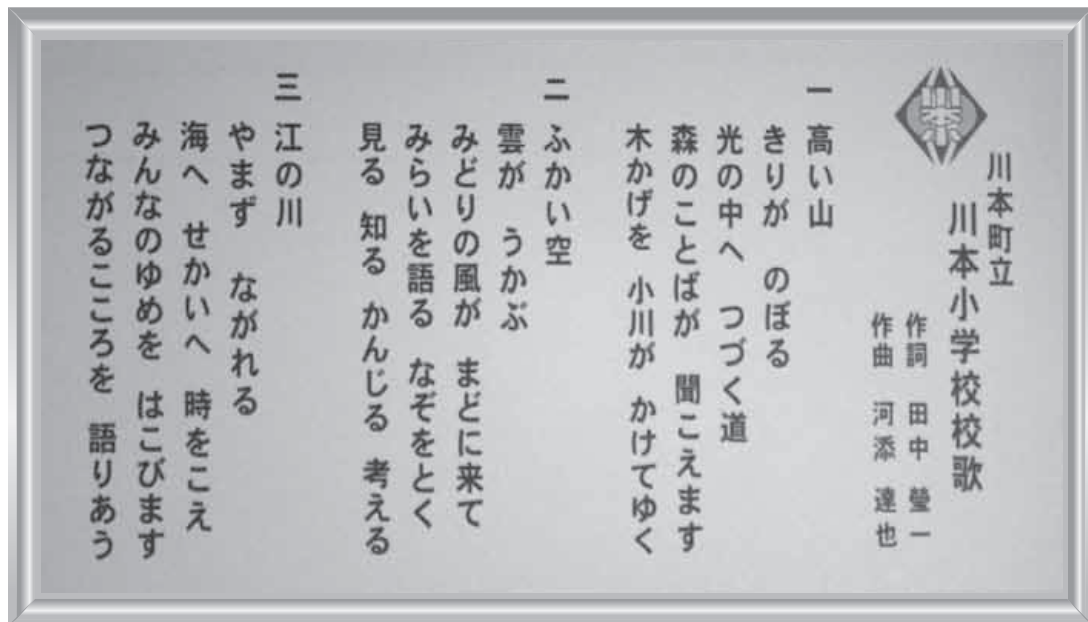
夫の名



男女共同参画カルタより

川本町立 川本小学校 校歌

作詞 田中瑩一
作曲 河添達也



川本町の人口 平成24年4月1日現在
※()は前月との増減

合 計	男 1,727人 (-45人)
3,698人	女 1,971人 (-21人)
	うち65歳以上 1,549人
	うち15歳未満 335人
(-66人)	世帯数 1,773戸

増 減	転 入 22人	出 生 4人	その他 3人
	転 出 86人	死 亡 9人	その他 0人

※住民基本台帳を基にした、平成24年3月中の異動状況

広 告

登 記 相 談

(相続・売買・贈与・抵当権など)

☆日時 毎週・日曜日 午前10時～午後3時
☆場所 川本町笹畑 藤音宅
(笹畑集会所から山側へ徒歩1分です。
お気軽にご相談ください。)
☆担当 江津市都野津町2322番地20

島根県司法書士会会員

司法書士 藤 音 寛

電 話 (0855) 53-0294

携 帯 090-9062-3496